

地域計画

策定年月日	令和7年3月6日
更新年月日	令和8年5月11日
	(第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南砺市 (162108)
地域名 (地域内農業集落名)	北山田 地区 (宗守、鍛冶、徳成、利波河、東殿、高畠、神成、久戸、 在房、梅原安丸、梅原中筋、梅原上村、梅原出村)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	384.56 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	375.41 ha
② 田の面積	372.99 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	11.56 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.73 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	4.37 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.29 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集落営農組織の課題は、安定した収入と人材の確保である。集落内の人口減少が進む中で、特に農作業を担う人材の高齢化とともに若い世代の人口減少が著しいことから、少人数による省力経営の方策について検討を進める必要がある。
- ・後継者の労働力、特に草刈り、水管理人が年々減少し統合や専従対応が課題となる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・現状維持、担い手の育成に努める。
- ・市及びJAとの地域安定作物生産を進める。
- ・農作業の効率化並びに所得向上を図るべく、今後ともスマート農業の導入を進める。構成員(農業従事者)の高齢化が進む中、地域内で若手従事者の育成に取り組んでいく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付けを進め、担い手への農地の集積、集約化を基本とし、担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	95.7 %	将来の目標とする集積率	95.7 %
--------	--------	-------------	--------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

担い手を中心に集積、集約化を進め、団地面積の拡大を農業委員、農地利用最適化推進委員等と調整し、農地バンクを通じて進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・現状に沿って大型機械による拡大を進める。 ・任意集落営農組織で集積、集約化の継続。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・東殿集落営農組織が耕作する農地の利用権設定は、組合構成員とは「農作業等受委託契約」を結び、非構成員とは「農地中間管理事業」及び「農地利用集積円滑化事業」による契約であり、契約期間は令和8年度末までとなっている。令和9年度以降については、非構成員とはすべて「農地中間管理事業」による契約とするが、構成員との契約は、「農作業等受委託契約」とするか「農地中間管理事業」による契約とするかは検討中である。 ・土地所有者に貸付等の意向が生じた場合は、農業委員会と相談し必要に応じて利用する。
(3)基盤整備事業への取組
鍛冶：桜ヶ池用水事業に伴い令和8年に向け基盤整備(1ha)を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・市やJAと連携し、栽培技術や農業機械の支援やリースを受ける。 ・集落内の農業は、今後とも市やJA等関係機関との連携により、農事組合法人徳成営農による農用地の利活用と経営の効率化、高度化、所得向上を進める。 ・組合員の高齢化が懸念されることから若手組合員への育成を図っていききたい。 ・中筋区域は全体を単一の集落営農組合として耕作運営しており、存続見込みである。 現状では多様な経営体の計画等は検討されていない。必要性は認識されていない。 ・市やJAと連携し、人参栽培取り組んでいる。収穫前に当地の縁者を含め地域在住の方全てを対象に『人参狩り』なる試収穫を行い、当地内の多くの活動内容の周知を図り、営農活動への参加を募る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・JAへり防除委託活用を進める。 ・農事組合法人徳成営農が現在委託している水稻、麦の乾燥調製、出荷野菜の共同選別作業や農産物の出荷販売等は、今後ともJAの共同利用施設やJAの受託販売事業を利用する。 ・現状機械に応じた作業に取り組み、ドローンなど委託できるものは活用していく。 ・地域内での農作業の省力化、効率化を図るために、水稻の初期除草剤の散布や、水稻、大麦、大豆の基本防除はJA等に委託する。 ・JAへ肥料、農薬散布を発注、畜産会社へ飼料作物部分の収穫、有機肥料散布を発注しており、今後も発注を継続して行く。 ・乾燥、調製、出荷、無人へりによる防除を農協に委託し効率化を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ③農事組合法人徳成営農が今後とも農作業の効率化や経営の高度化を図るため、積極的にスマート農業に係る研修会、講習会等に参加し、低コスト農業や所得向上を目指し、必要な技術の導入を図る。
- ③省力化のために、技術の進歩を見ながら導入を進める。
- ③機械データより今後の肥料などの削減に繋がる。
- ③令和2年にドローンを購入し、有資格者7名で運用しており、隣接集落の防除も受託している。ザルビオの生育マップも活用している。
- ③自動給水機等の自動化を検討する。
- ③作業の省力化、少人員化のため、ドローンなどスマート農機の活用を検討する。
- ⑦農用地法面、畦畔は緑化と草刈、用水路は草刈と土砂堆積除去を続ける。
- ⑦多面的機能支払交付金を目的とする活動。
- ⑦農事組合法人徳成営農は、今後とも徳成集落や徳成地区農地・水・環境保全推進委員会と連携し、集落内の環境保全、農用地の管理に努める。
- ⑦除草、水管理など管理協定や省力化を検討する。
- ⑦多面的機能支払交付金に係る地域資源保全管理構想に従い取組む。
- ⑨農事組合法人徳成営農は農用地利用に関し、主穀作(水稻作)以外の生産調整面積をWCS稲を中心に取組み、今後とも畜産農家との耕畜連携による農地の利活用を図りつつ、大麦作付も含めて1年2作、2年3作の農地の有効利用を進める。
- ⑩作業の省力化、少人員化、効率化のため、直接播種、側条施肥、播種同時農薬散布を続けて行く。ただし、より少人員化のための、ドローン播種など、効率的な農機導入と耕作方法を検討する。
- ⑩梅原地区営農組織協議会を発展させ、梅原地域を土地、人材、設備、行事で運営利用する仕組みを目指す。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	26経営体		371.03 ha	68.00 ha		371.03 ha	68.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	JA福光	米麦の乾燥調製・農産物の出荷販売等	水稻・大麦
2	上野畜産	WCS稲の収集・集荷等(耕畜連携作業)	WCS稲
3	福光農業協同組合	農業散布	水稻、大麦、大豆

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	水稲	33.93 ha	ha	水稲	33.93 ha	ha	A	
2	認農	水稲	20.00 ha	ha	水稲	20.00 ha	ha	B	
3	認農	水稲	21.00 ha	ha	水稲	21.00 ha	ha	C	
4	認農	水稲、大麦、WCS種	31.70 ha	31.70 ha	水稲、大麦、WCS種	31.70 ha	31.70 ha	D	
5	認農	水稲	0.90 ha	0.90 ha	水稲	0.90 ha	0.90 ha	E	
6	認農	水稲、麦、大豆	18.40 ha	18.40 ha	水稲、麦、大豆	18.40 ha	18.40 ha	F	
7	認農	水稲、大麦、大豆	33.60 ha	ha	水稲、大麦、大豆	33.60 ha	ha	G	
8	認農	水稲、野菜	17.00 ha	ha	水稲、野菜	17.00 ha	ha	H	
9	認農	水稲、大麦、大豆	17.00 ha	17.00 ha	水稲、大麦、大豆	17.00 ha	17.00 ha	I	
10	認農	水稲、麦、豆	43.80 ha	ha	水稲、麦、豆	43.80 ha	- ha	J	
11	認農	水稲	2.00 ha	ha	水稲	2.00 ha	ha	K	
12	認農	水稲	1.20 ha	ha	水稲	1.20 ha	ha	L	
13	認農	水稲	5.00 ha	ha	水稲	5.00 ha	ha	M	
14	認農	水稲	0.80 ha	ha	水稲	0.80 ha	ha	N	
15	認農	水稲	1.80 ha	ha	水稲	1.80 ha	ha	O	
16	認農	牧草	4.90 ha	ha	牧草	4.90 ha	ha	P	
17	集	水稲	12.00 ha	ha	水稲	12.00 ha	ha	Q	
18	集	水稲	1.50 ha	ha	水稲	1.50 ha	ha	R	
19	集	水稲	30.00 ha	ha	水稲	30.00 ha	ha	S	
20	集	水稲、野菜	18.00 ha	ha	水稲、野菜	18.00 ha	ha	T	
21	集	水稲	22.00 ha	ha	水稲	22.00 ha	ha	U	
22	集	水稲	4.70 ha	ha	水稲	4.70 ha	ha	V	
23	集	水稲、野菜	26.80 ha	ha	水稲、野菜	26.80 ha	ha	W	
24	利用者	水稲	1.70 ha	ha	水稲	1.70 ha	ha	X	
25	利用者	水稲、麦	1.10 ha	ha	水稲、麦	1.10 ha	ha	Y	
26	利用者	水稲	0.20 ha	ha	水稲	0.20 ha	ha	Z	